

(2) 安積^{あさか}疏水^{そすい}と地いき^{はってん}の発展

安積疏水と地いきの発展^{かんけい}に関する年表

年	一八七三	七四	七九	八〇	八一	八二	八七	九八	一九〇六	九	十二	十五	十六	十七	十八	十九	二〇	二一	二二	二三				
時代	明治六	七	十二	十三	十四	十五	二〇	三一	三二	三九	四二	四五	大正元	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二		
主なできごと	開成社 ^{かいせい} でき、開拓 ^{かいたく} 始まる	開成沼 ^{かいせい} できる	安積疏水 ^{あさか} 工事始まる	生糸 ^{せいし} をとる工場 ^{こうじょう} できる	生糸 ^{せいし} をとる工場 ^{こうじょう} できる	疏水 ^{そすい} 工事完成 ^{せいせい} する	東北本線 ^{とうほくほんせん} (上野 ^{かみの} 〜郡山 ^{ぐんやま})できる	ばんえつ西線 ^{ばんえつせいせん} (郡山 ^{ぐんやま} 〜若松 ^{わかしほ})できる	沼上 ^{ぬまがみ} 発電所 ^{かんでんじょ} できる	生糸 ^{せいし} をつくる工場 ^{こうじょう} できる	電灯 ^{でんとう} つく	たばこ工場 ^{たばここうじょう} できる	電話 ^{でんわ} が始まる	豊田 ^{とよた} じょう水場 ^{みづば} できる	生糸 ^{せいし} をつくる工場 ^{こうじょう} できる	ほうせき工場 ^{ほうせきこうじょう} できる	電気会社 ^{でんきかいしゃ} できる。化学工場 ^{かがくこうじょう} できる	ほうせき工場 ^{ほうせきこうじょう} できる	化学工場 ^{かがくこうじょう} できる	竹ノ内 ^{たけのち} 発電所 ^{かんでんじょ} できる	国鉄 ^{こくてつ} 工場 ^{こうじょう} できる	丸守 ^{まるもり} 発電所 ^{かんでんじょ} できる	ほうせき工場 ^{ほうせきこうじょう} できる	ほうせき工場 ^{ほうせきこうじょう} できる
人口 ^{じんこう} (人)	四七八二	四七八九	五五〇九	五五二九	五五五二	五六五九	七三六六	一一八五九	一二七〇九	一六六一四	一八九二八	二二九〇二	二二九〇二	二二九〇二	二二九〇二	二二九〇二	二二九〇二	二二九〇二	二六二一八	二六二一八	二六二一八	二六二一八	三九〇〇三	三九〇〇三

上の年表を見て、みんなで気がついたことを話し合いました。

「安積疏水ができるころから、郡山にはいろいろできたね。」

「人口もふえているわ。」

「郡山がだんだんにぎやかになってきたみたい。」

そこに、先生が、こんなお話もつけくわえてくださいました。

「みんなが飲んでいる豊田^{とよた}じょう水場^{すいじょうば}の水は、実は安積疏水から流れてきているのよ。むかしの皿沼^{さらぬま}水道^{すいどう}や多田野^{ただの}水道^{すいどう}では水が少なかったり、ごみが入ったりしていたので、安積疏水から水を分けてもらって、県内で初めて近代の水道をつくったのよ。」

清君たちは、安積疏水と自分たちの生活のつながりにびっくりしました。そこで、安積疏水と郡山の工業や農業のつながりをもっとくわしく調べてみることにしました。